

令和5年度

学力向上推進員研修会資料

【小学校部会】

徳島県学カステップアップテストを活用した
学習指導について(国語)



1

徳島県学カステップアップテスト(令和5年4月実施)結果・分析

平均正答率(%)

	全体正答率	無解答率
4年	62.2	6.4
5年	50.0	10.5

「領域別」における平均正答率(%)

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能
4年	66.3	46.8	46.6	76.6
5年	41.5	32.3	46.0	55.6

2

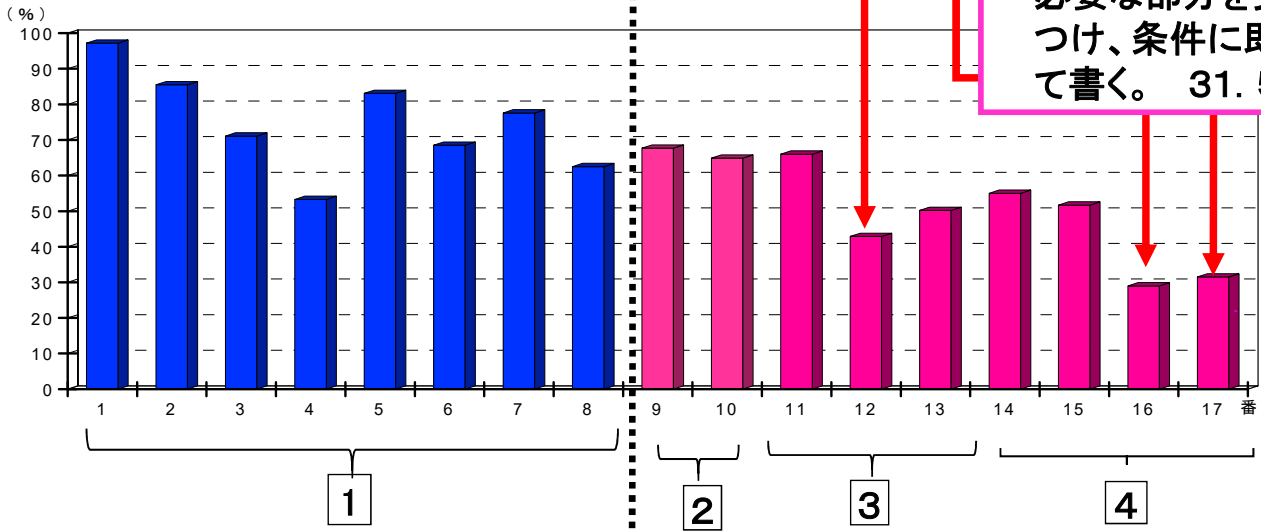
知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

12 登場人物の気持ち 42.9%

16 大事な言葉を書き抜く。 29.0%

17 目的に応じて、必要な部分を見つけ、条件に即して書く。 31.5%



3

ミルクの大へん身

1 ヨーグルト (ア) 暑い地方でミルクをおきっぱなしにしたとき、にゅうさんきんというきんが入りました。すると、だんだんどろっとして少しすっぱいあじになりました。

2 バター (ア) しぼったばかりのミルクをしずかにおいでおくと、表面にしぼりの多いクリームが出てきます。かき回したりゆすったりすると、しぼりがくっついてかたまります。

3 チーズ (ア) 煮たばかりのミルクをひたひたの水の中に入れておくと、ミルクが固まって出てきました。これをチーズと呼びます。

4 まとめ

チーズについて(世界ではどうか)まとめたい。

○段落相互の関係を考えて、全体の構成を把握し、課題を解決するために必要な情報を捉える。

事例

三つめのミラクルは、チーズへの変身です。古いアラビアの民話に、つぎのような話があります。ある商人が、ひつじの胃をくりぬき、その中にミルクを入れて出かけた。暑いさばくをぬけ、夕方、その水とうからミルクをのもうとすると、中から白いかたまりが出てきました。それは、ミルクがひつじの胃の中で変化した物だと分かりました。これがチーズのはじまりです。チーズは、ミルクの中のたんぱく質がこびりついてきた食べ物です。それから、人々はよくあじを、自分たちの手でチーズを作れるようになりました。えいようがあり、とてもおいしいので、今では、世界中で干しゆるいものチーズが生産されています。

二つめのミラクルは、バターへの変身です。しぼったばかりのミルクをしずかにおいでおくと、表面にしぼりの多いクリームがでてきます。かき回したりゆすったりすると、しぼりがくっついてかたまりができてきます。これをバターと呼びます。バターは、ほかの油にくらべて、体にいいとされています。とくに、アメリカやフランスでは、バターをパンにつけて食べたり、料理にはかかせない物となっています。

一つめのミラクルは、ヨーグルトへの変身です。動物のミルクを利用しはじめたのは、今のエジプトの近くにすむ人たちです。この地方では、暑いときには日中の気温が五十度近くにもなります。ここにミルクをおきっぱなしにすると、いろいろな菌が空気中からとびこんで、どんどんふえていきます。このとき、ミルクの中に、にゅうさん菌という菌が入ると、ミルクは変身をはじめます。それまで、水のようにさらさらだったミルクが、だんだんどろっとしてきます。食べてみると、少しすっぱいあじになります。これが「ヨーグルト」です。多くは、牛のミルクから作りますが、国によってろくろやぎのミルクからも作ります。

令和5年度 29.0%

【ポスターの下書き】の「イ」に入る言葉を、十九字以内で書きぬきよ。

4 三文書の中での大事な言葉を見つけ、書き抜く。

4 三 文書の中での大事な言葉を見つけ、書き抜く。

④ お母さんのおちち（ミルク）をのんで、大きくなる動物のことを、ほにゅう動物といいます。みなさんは、動物のミルクがさまざまな物に変身することを知っていますか。ミルクはどんなミルク（ふしぎなこと）をおこなっているのでしょうか。

③ 今のエジプトの近くにすむ人々です。この地方では、暑いときには日中の気温が五十度近くにもなります。ここにミルクをおきっぱなしにすると、いろいろな菌が空気中からとびこんできて、どんどんふえていきます。このとき、ミルクの中に、にゅうさん菌という菌が入ると、ミルクは変身をはじめます。それまで、水のようにさらさらとしていたミルクが、だんだんどろっとしてきます。食べてみると、少しすっぱいあじになります。これが「ヨーグルト」です。多くは、牛のミルクから作りますが、国によってらくだややぎのミルクからも作ります。

② 二つめのミルクは、バターへの変身です。しばったばかりのミルクをしずかにおいておくと、表面にしぼりの多いクリームがういてきます。これをかき回したりゆすったりすると、しぼりどろしどろついてかたまりになっていきます。こうしてできたかたまりが「バター」です。バターは、ほかの油にくらべてあじやかおりがよいため、今では料理に使われています。とくに、アメリカやフランスでは、日本の六から七倍ものりょうが使われるほど、料理にはかかせない物となっています。

① 三つめのミルクは、チーズへの変身です。古いアラビアの民話に、つぎのような話があります。ある商人が、ひつじの胃ぶくろをほして作った水とうにミルクを入れて出かけた。暑いさばくをぬけ、夕てきました。それは、のはじまりです。チーズは、とてもおいしいので、今では、世界中で干しゆるいものチーズが作られています。から、人々はくふうして、自分たちの手でチーズを作れるようにしました。えいようがあり、身し、あじもせいしつもちがう物になるのです。

チーズへの変身

チーズについて(世界ではどうか)まとめたい。

ミルクの大へん身

1 ヨーグルト
(ア)
暑い地方でミルクをおきっぱなしにしたとき、にゅうさん菌という菌が入りました。すると、だんだんどろっとして少しすっぱいあじになりました。

(世界では)
らくだややぎのミルクから作る国もあります。

2 バター
(ア)
しばったばかりのミルクをしずかにおいておくと、表面にしぼりの多いクリームがういてきます。かき回したりゆすったりすると、しぼりがくっついてかたまりました。

(世界では)
アメリカやフランスでは、日本の6~7倍ものりょうが使われます。

3 チーズ
(ア)
ミルクを入れたひつじの胃ぶくろの水とうの中から白いかたまりが出てきました。ミルクが胃の中でへん化して、ミルクの中のたんぱくしつがかたまってきました。

(世界では)
イ

4 まとめ
ウ

○目的を明確
(何のために調べるのか)にして、
調べる内容を具体的に
にする。

4 三 文書の中での大事な文や言葉を見つけ、書き抜く。

【ホスターの下書き】の「イ」に入る言葉を、十九字…【しりょう】から見つけて書きぬき…

自分たちの手でチーズを作れるようにしました。えいようがあり、とてもおいしいので、今では、世界中で干しゆるいものチーズが作られています。

「ホスターの下書き」

ミルクの大へん身

1 ヨーグルト
(ア)
暑い地方でミルクをおきっぱなしにしたとき、にゅうさん菌という菌が入りました。すると、だんだんどろっとして少しすっぱいあじになりました。

(世界では)
らくだややぎのミルクから作る国もあります。

2 バター
(ア)
しばったばかりのミルクをしずかにおいておくと、表面にしぼりの多いクリームがういてきます。かき回したりゆすったりすると、しぼりがくっついてかたまりました。

(世界では)
アメリカやフランスでは、日本の6~7倍ものりょうが使われます。

3 チーズ
(ア)
ミルクを入れたひつじの胃ぶくろの水とうの中から白いかたまりが出てきました。ミルクが胃の中でへん化して、ミルクの中のたんぱくしつがかたまってきました。

(世界では)

4 まとめ
ウ

授業改善

○多様な資料から情報を収集する経験を積み重ねる。
○条件に即して書く機会を設ける。

4 四 目的に応じて、資料の中から必要な部分を見つけ、条件に即して書く。

令和5年度
31.5%

【中川さんが話したこと】をきいて、「このくふうのおかげで」について書きましよう。



【中川さんが話したこと】
ざいりように手をくわえて、あじもせいしつもかわることを加工するといいます。食品を加工することで、えいようが高まつたり、あじがよくなつたりします。また、ほぞんもでき、あつかいやすくなりません。わたしたちの食生活がゆたかになったのは、これまでにわたしたち人間が重ねてきた、くふうのおかげであることを知ってほしいと思います。

食品を加工するという(工夫)のおかげで、人間の生活はどうなったのかまとめたい。

【解答例】

食べ物ミラクルをおこしたことをきっかけに、人間は、くふうを重ねてきました。
このくふうのおかげで、えいようを高めたり、あじをよくしたりして、わたしたちの食生活がゆたかになったのです。

授業改善

○目的を明確(何のために調べるのか)にして、調べる内容を具体的に調べるのか

学習指導に当たって

○多様な資料から必要な情報を収集する場合

- ・読む目的を明確にする
- ・複数の情報の内容を比較する

効果的な読みの工夫が重要

目的に応じて効果的な読み方を選ぶ

- 比べ読み(複数の教材を)
- 速読
- 多読(同じ課題で多くの本を重ねたり並行させたりして読む)
- 詳細に読む(視点をもち場面を選んで)

指導

- 目的に応じるように
- 示された観点より
- 選択した情報(観点)を用いて
- 示された言葉・表現を用いて
- 書き出し・書き結びを用いて
- 字数の範囲指定

○「考えの形成」にあたり、手引きとして示してみる。

- ・これらの観点から一つ選んで書いてみよう
- ・ここに挙げた言葉から選んで書いてみよう
- ・ここに挙げた書き出しを使ってみよう
- ・ここに挙げた書き結びを使ってみよう

※例文は常に準備しておくこと。

「私(指導者)ならこう書くよ。もし、似た考えだ、という人は、使ってもいいよ。」

※アウトプット(発信・表現)を求めるなら、手引きとなる情報(例)をインプットできるよいう教材研究をしておくこと。

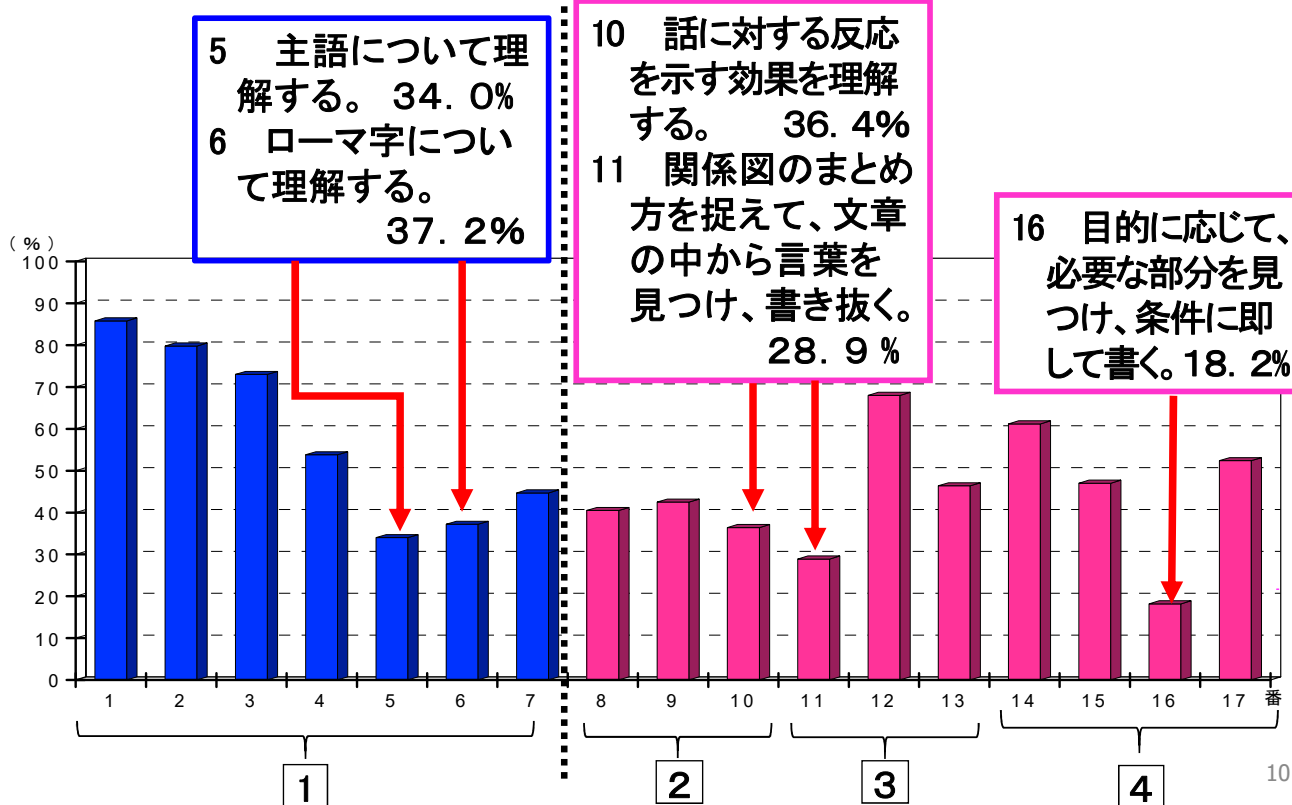
徳島県学カステップアップテスト結果・分析

国語5年生

正答率(設問別)

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等



主語について理解する

(令和5年度ステップアップテスト4年 1 四)

1 ふつっていた 2 雨が 3 急に
4 やんだ。

令和5年度

77.6%

(令和5年度ステップアップテスト5年 1 五)

1 世の中には 2 見えない 3 も
4 のが 5 たくさん あります。

令和5年度

34.0%

授業改善

- 主語を意識させる。
- 他者の作文を音読する場を設ける。
- 文章の推敲指導を取り入れる。(短い文章の協同批評)

主語と述語の関係などに注意して文を書く

(令和4年度ステップアップテスト5年 1 四)

人間は生きるために、植物や動物の命をいた
だいて生きています。

人間は生きるために、

植物や動物の命をいただいています。

(令和5年度ステップアップテスト5年 1 五)

見えないと言っているのは、たんぽぽの根
と昼間のお星は見えないと言っています。

見えないと言っているのは、

たんぽぽの根と昼間のお星です。

音声と関係付けながら規則性に気付かせる。

令和5年度 44.7%

授業改善

- 文章の推敲指導を取り入れる。(短い文章の協同批評)

令和4年度 43.3%

文章を読み返すときのポイントについて話し合う

声に出して読んでみると、「人間は生きるために、植物や動物の命をいただいて生きています。」は何かおかしいね。



最初に「生きるために」とあるのに、また「生きています」と書いているからだと思うわ。

一つの文の中に、同じ言葉があるということだね。「人間は生きるために、植物や動物の命をいただいています」と直すと重ならないね。



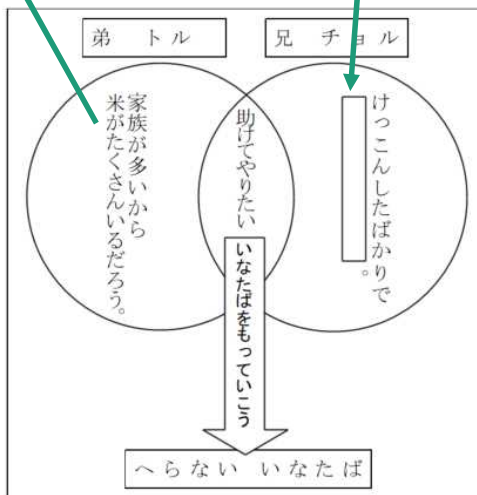
最初の「生きるために」をとって、「人間は、植物や動物の命をいただいて生きています。」とすると、主語と述語が合っていますね。

③ 一 関係図のまとめ方を捉えて、文章の中から言葉を見つけ、書き抜く。

チヨルの気持ちを表した言葉が入ります。ふさわしい十四字の言葉を【物語の一部】の中から書きぬきましょう。

叙述を基に捉える

「林さんのノートの一部」

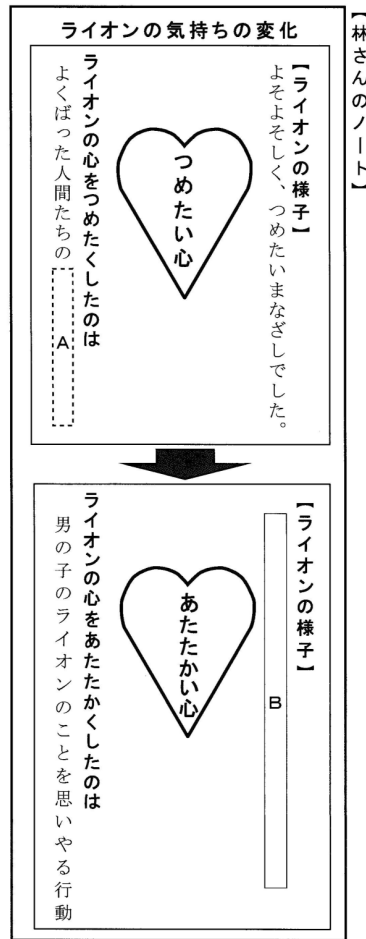


「いくら豊作だといっても、兄さんのうちは、家族が多いから米がたくさんいる。…」

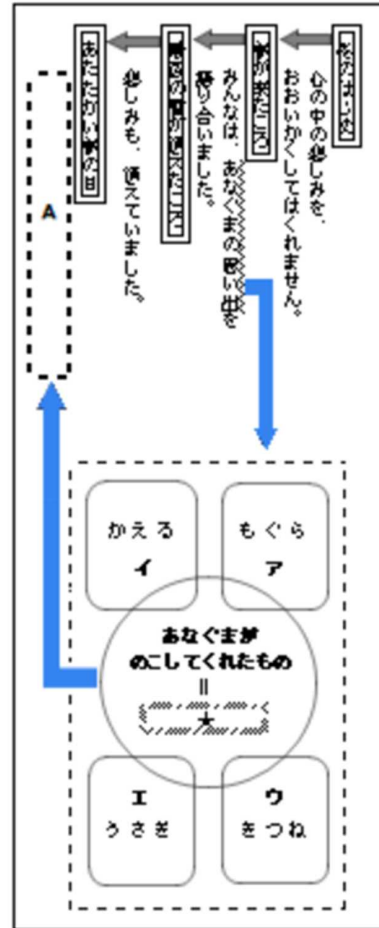
「トルのやつ、よめさんに着物も買ってやりたいたろう。たんすもほしいだろう。なべやかまもたらない、皿もたらないと、さぞたりないものだらけだろう。おらが少しでも助けてやらねばなるまい。」

令和5年度
28.9%

○年間を通して、多様な言語活動の体験
 (多様な表現)
 ○板書やノート整理に「図示」を取り入れる。思考ツールも一例。



〔林さんのノート〕



様々な図示

3 心に強く残った叙述とその理由を、登場人物の気持ちを想像しながら書く。

特に強く心に残ったところと、なぜそこが強く心に残ったのかを、ノートにまとめることにしました。次の【条件】に合わせて、書きましよう。選んだ理由をチャールとトルのどのような気持ちが表れているかを考えて……。

二人は、かけよりました。①あせにぬれたかたをしつかりとだき合い、大声で笑いました。
 「あははは……。そうだったのか。」
 「なあんだ、兄さんもそうだったの。あははは……。」
 へらないいなたばのなぞが、わかったのです。
 ②だき合った兄と弟の熱いむねのひびきが、どくどくと重なりました。
 「兄さん、おらのとは何も心配いらぬ。」
 「おまえこそ、よけいなこと考えるんじゃない。兄さんのとこは、ありあまるほど米がとれたんだ。」
 「いいや。」
 「だめだ。」
 口げんかひとつしたことのない、兄と弟は、こうして、どれほどあそびたことでしょう。
 ③兄のむねには、弟のやさしい気持ちが、弟のむねには兄の気持ちが、あたたかい春の雨のようにしみとおりました。

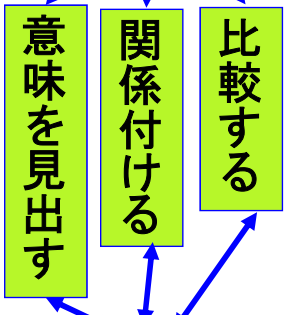
《身に付けさせたい力》
 叙述を基に、登場人物の性格や境遇、状況を把握し、場面や情景の移り変わりとともに変化する気持ち想像する力

《言語活動》
 最も心に響く一文を「読書しようかいカード」に書いて、感動の中心や物語の魅力を伝えよう。

1 いくつかの視点を示し、心に響く一文を複数見付ける。

《例》登場人物 表現 出来事(変化)
 《例》会話・行動(赤で線) 様子(青で線)
 *直接描かれていない情景から登場人物の心情を想像する。

2 その中から、最も心に響く一文を選び、その根拠を明確にする。



言葉の認識を深める
 読み方や味わい方を広げる

授業改善

3 同じ文を選んだ友達、違う文を選んだ友達同士で交流し、表現の効果や特徴等を吟味する。

身に付けた国語の力を自覚する!

全文シート

授業改善

- 全文シートを活用する。
- 視点を示し、複数見付ける。
- 叙述をもとに根拠を明確にする。

4 三 目的に応じて、資料の中から必要な情報を見つけ、条件に即して書く。

谷田さんのアドバイス「理由が他にもあるのですね」として、書き直したら「...」をもとに、【条件】に合わせて書き直しましょう。

○段落相互の関係を考えて、全体の構成を把握し、課題を解決するために必要な情報を捉える。

【資料1】
 ① わたしたちは、何のために食べ物をほしてから食べるのでしょうか。
 ② ほすことの目的の一つめは、そのままでは食べられないものを食べられるようにすることです。ほしがきは、しぶがきをほして作ります。しぶがきは、そのままではしぶくて食べられません。しかし、ほすことで、しぶ味がぬけてあまくなり、食べられるようになります。
 ③ ほすことの目的の二つめは、食品を長もちさせることです。生の食べ物をそのままおいておくと、細菌などがぐっつき、それらがぐえて、くさってしまいます。これは食べ物に水分がふくまれているため、細菌などがぐえて、ぐえたいようになっていくからです。
 ④ 昔は、季節や天候などにより、食べ物がいつでも手に入るわけではありませんでした。また、運よく肉や魚、野菜などの多くの食べ物が手に入ったとしても、食べきれない分はくさり、食べられなくなってしまう。そこで、少しでも長い間食べるために、ほすなどの保存をすることが必要だったのです。長い間食べられるように手を加えた食品を保存食といい、今ではわたしたちの生活にかかせないものとなっています。
 ⑤ わたしたちの身近にある、ほしたものの。それは自然のめぐみと昔の人のくふうのけっしよです。肉や魚、野菜などのそざい。太陽の光や風。そして人の手やちえ。食べ物を大切にし、長もちさせるためのくふうだったほすことに、そざいをおいしくするためのくふうが加わって、わたしたちは、一年を通しておいしいものが食べられるのです。

（森渡卓士「干したから...」池より学政）

（ポスターの下書き）

わたしが調べた保存食



1 保存食とは

(A)

2 なぜ保存する必要があるのか

季節や天候などにより、食べ物がいつでも手に入るわけではなかったから。

目的に合わせて必要な言葉を文章から見つけ、取り出す。

【解答例】 季節や天候などにより、食べ物がいつでも手に入るわけではなく、食べ物が手に入ったとしても、食べきれない分はくさるので、少しでも長い間食べられるようにするため。

昔は、季節や天候などにより、食べ物がいつでも手に入るわけではありませんでした。また、運よく肉や魚、野菜などの多くの食べ物が手に入ったとしても、食べきれない分はくさり、食べられなくなってしまう。そこで、少しでも長い間食べるために、ほすなどの保存をすることが必要だったのです。長い間食べられるように手を加えた食品を保存食といい、今ではわたしたちの生活にかかせないものとなっています。

令和5年度 18.2%

話し合いにおける学習指導



21

○計画的かつ効果的な話し合い

司会

役割を理解し、出てきた発言を整理したり、捉えたり、まとめたりする。

話すとき

自分の立場や考えを明確にする。

聞くとき

意見の共通点や相違点を考える。

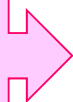
○話し合いの仕方を理解して実践

- ・話し合いの経験を積み重ねる。(小集団・学級)
- ・話し合いを撮影等したものを視聴する。

話し合いの進め方などの具体的なポイントを明確にする。

授業改善

小集団や全体で、話し合いの経験を積み重ねる。

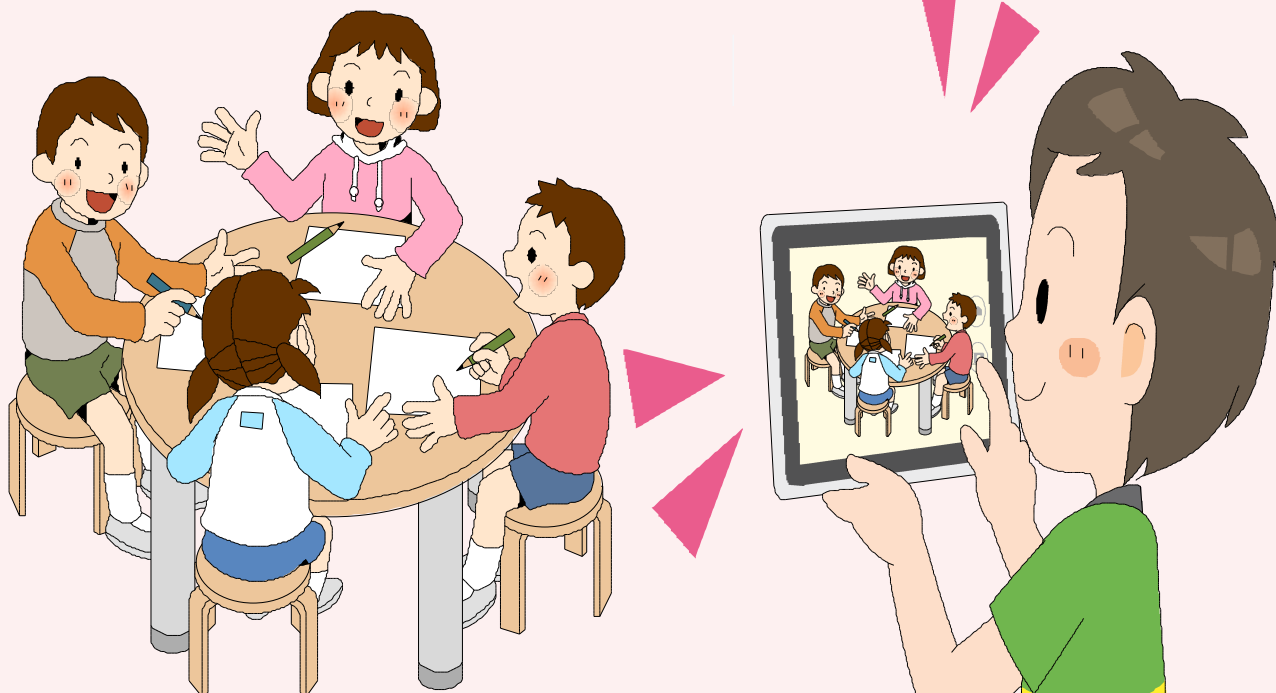


話し合いにおける学習指導

授業改善

ICTを活用して話し合いを録音する。

※話し合いのポイントを明確にしておく



自分の意見・考え + 根拠となる文や文章（叙述）

「さくらら……。あの子がさいしょに立っていたところだ。」とあり、

女の子が立っていたところにはさくらが立っていたから、女の子はさくらの木だと思っています。



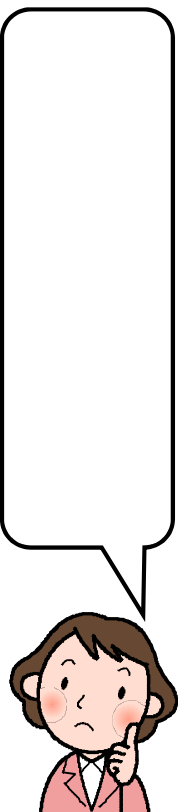
授業改善のポイント

根拠となる文章（叙述）と自分の意見を結び付けて（セットにして）表現できるようにする。

根拠となる文や文章（叙述）

「またね。また会おうね。」とあるので、「女の子はさくらの木だと思っています。」

さくらは、毎年春になったらさくので、またというのは、来年のことを言っているのだと思ったからね。



授業改善のポイント

子供の思考を大切に。思考を深め、広げる補助発問をする。

①育成を目指す資質・能力を明確にし、実施状況を評価して改善を図りながら、一人一人の子供に最適な学びを重ねていく場の設定

- ◇振り返りやアンケート、学力調査等を活用し、子供一人一人のつまづきを捉えて指導する。
- ◇教科等横断的な学習の充実を図るとともに、他教科等の取組の成果を国語科の取組に生かす。

②「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を関連させ、言語活動を通して資質・能力を育成する単元の構想と展開

- ◇語彙の量と質の充実を図るために、読書活動の推進や実生活に関連した言語活動を取り入れるなどして、語句を蓄積することや蓄積した語句を意図的に使わせることに、継続的に取り組む。
- ◇目標と言語活動の設定の工夫、学習の手引きや多様なモデルの提示等、指導・支援を通し他者と協働しながら、子供が主体的に学習を進める過程を設定する。
- ◇子供の実態に即して、学習過程を弾力的にし、繰り返したり取り立てたりして指導する。
- ◇言葉による見方・考え方を働かせるために、子供が比較・分類・関連付け等様々な思考に取り組むよう発問や指示を工夫する。

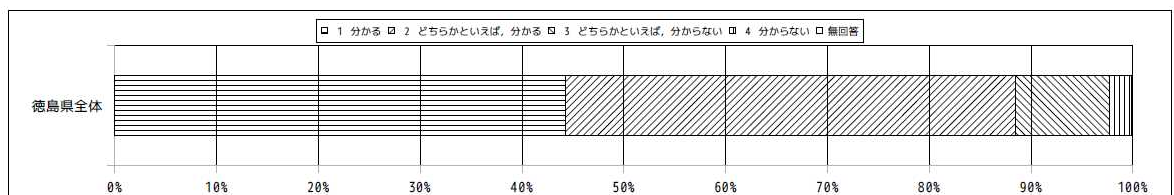
③身に付けた国語科の資質・能力をICT活用等により自覚化を図る指導の充実

- ◇多様な学習の記録(ノート、成果物、映像等電子データ)が生まれるように工夫する。
- ◇「書くこと」を通して振り返りをさせるとともに、ICTの利用等により共有して学びを深めさせる。

令和4年度学カステップアップテスト時の児童質問紙の集計

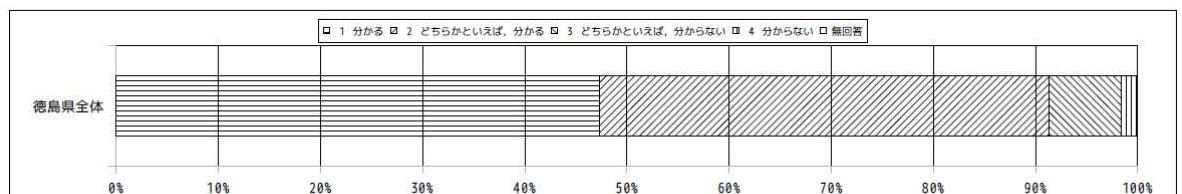
第四学年

質問番号	質問事項									
(11)	国語の授業の内容はよく分かりますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
徳島県全体	44.1	44.1	9.2	2.2						0.1



第五学年

質問番号	質問事項									
(11)	国語の授業の内容はよく分かりますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
徳島県全体	47.2	43.8	7.1	1.6						0.0



確かな学力の定着に向けて

27

1 子供たちが主体的に思考・判断し表現する言語活動を位置付けるとともに、その活動の中で、どのような国語の能力が身に付いたのかを子供自身に意識させる。

育てたい国語の能力にぴったり合った言語活動を位置付ける。評価規準や評価の方法を明確にする。

2 全国学力・学習状況調査やステップアップテストの問題を授業で活用する。

○活用問題を中心に、どのように考えて解けばよいのか解説する。

○日々の授業での話し合い活動や調べ活動、表現活動と関連させながら指導する。

3 「学習ガイド」等を活用し、初読の問題に慣れる。

『話し合い』活動の問題」

「活用問題」

「チャレンジプリント」

教科書教材で学習した読む力が本当に身に付いているのか、別の教材で確かめる。